

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」蛸池駅前校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			同時刻に指導員の数の受け入れなので、時間帯や支援の組み合わせこどもの特性に合わせてスペースを作っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1		職員の資格の明記などの要望があったので、教室内に張り出し情報提供する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		3	1	バリアフリーまでは出来てないが情報過多にならないように配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			PDCA サイクルとして明確に動けてない場合もあり、再度職員同士意識できるよう明文化していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		今回のアンケートをもとにすぐ改善できるものと段階が必要なものとに分類し、業務改善につなげる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容についてホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	2	第三評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			連携機関の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修や定例研修を実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			受付シートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、体験・支援計画作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		アセスメントシートで実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			児発管と担当指導員、必要に応じて他の指導員のアドバイスを得て支援プログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			日々振り返りや職員間の打ち合わせで状況を確認把握しプログラムに活かしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		平日・休日関係なく45分療育、15分振り返りの1時間の支援なので、大きく課題を変える事はない。こどもの状況に応じて配慮する場合はある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		個別療育ではあるが、集団につなげるための SST なども実施。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			朝のミーティングにて必要な連携の確認を行う。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	1	一日の終わりではなく、支援終了後に必要に応じて報告、相談、連絡を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	2	2		こどものニーズに合わせて、今後も複数組み合わせ、支援を行う事を確認していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2		サービス担当者会議がなく、参加の機会がない。学校との連携から始めて、担当者会議に参加できるようにして行く。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	1	3		連携を始めたばかり。来年度からは年間行事等の情報共有も含め、より連携が取れるようにして行く
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4		ハード面や時間設定から利用される方は現在いない。今後、利用されるのであればきちんと連携を取っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	2	1	実施は出来てないが、現在利用されている学校との連携を始めたので、今後実施をしていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	実施は出来てないが、現在利用されている学校との連携を始めたので、今後実施をしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	連携のお願いをした段階である。今後は助言や研修も受けしていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	交流する機会がないので、見学をさせていただくなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2	参加できてないので参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		日々の振り返りの中で共通理解をもつようになっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	家族へのアドバイスや相談に乗る事はあるが家族支援プログラムとしては明確には行っていないため、今後勉強していきたい。
保護者へ	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に丁寧に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じている。

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	実施したことはあるが、広く周知されていない。連携のご希望があれば支援をしていく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		迅速に対応している。
非 常 時 等 の 対 応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2		2	LINE の活用を始めたと同時に、全ての利用者さんに発信できるツールとして教室内掲示もしていく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			鍵のかかる書庫にて管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		今後、迅速に対応できるよう配慮する。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	地域の方々が参加できるようなイベントは実施していないが、問い合わせがあれば配慮する。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		各種マニュアルを準備。訓練については保護者にも周知している。
非 常 時 等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			様々な防災訓練を月 1 回行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			1 年に 1 回以上研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3		運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制は整えている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		支援中に食事をとることがない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」蛭池駅前校

保護者等数（児童数）： 34 回収数： 24 割合： 70 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2		時間帯や支援の組み合わせこどもの特性に合わせてスペースを作っているが、出来る限り配慮させていただく。今後は場所が変更する事も考慮している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	4		職員の資格の明記などの要望があったので、教室内に張り出し情報提供する。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	9	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	23	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	2		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	12	9	希望される方には一緒にできる方法があるか探っていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	10		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23		1	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		18	6	希望される方がいらっしゃる時は支援させていただく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	6	5	LINEの活用を始めたがネットのツールのみでは、全ての利用者さんに発信できないので、教室内掲示なども考慮していく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	5		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	8	3	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	9	2	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	6		お礼の言葉を頂き、感謝するとともに、より一層精進いたします。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	2		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。